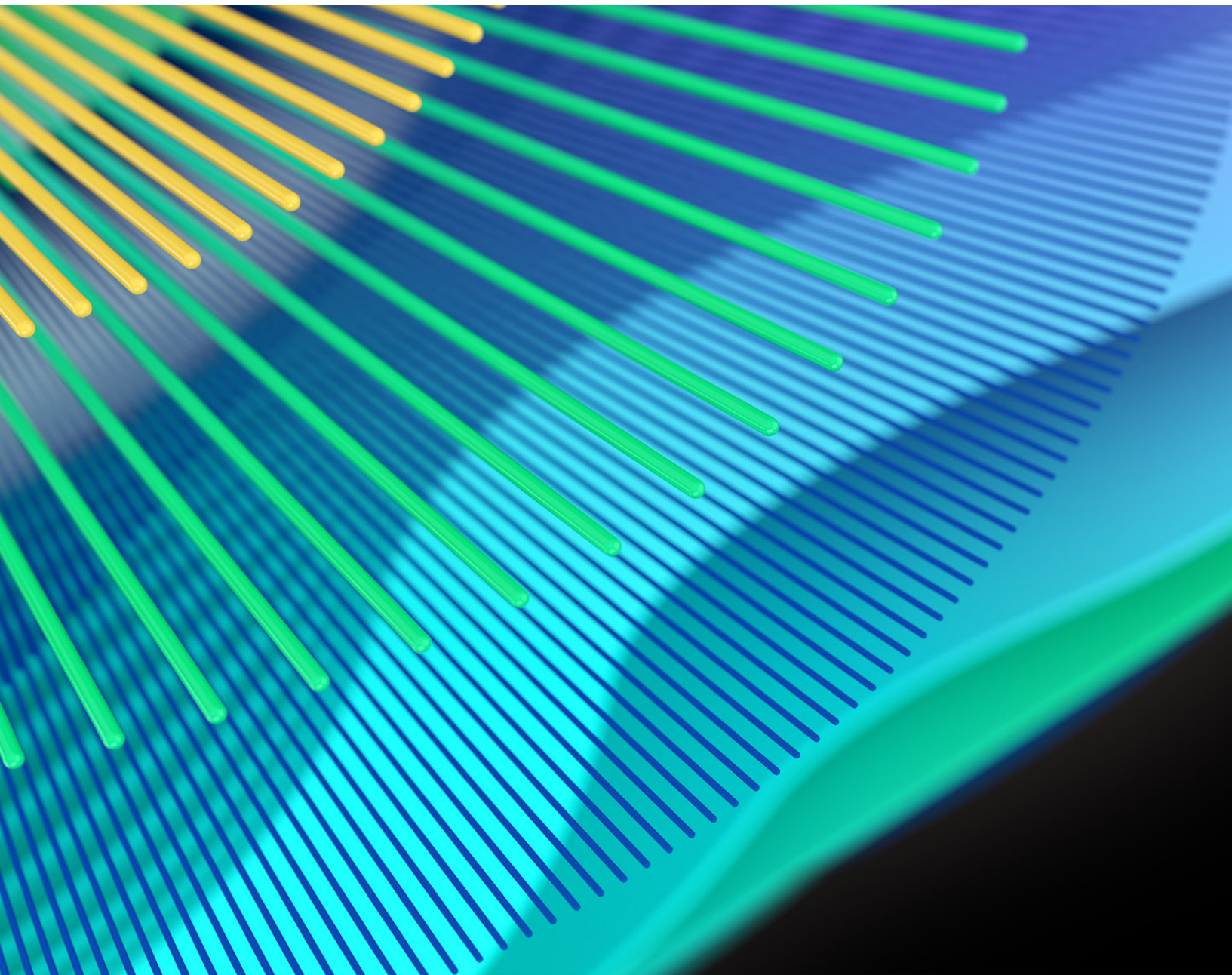


ScholarOne Manuscripts リリースノート

2020 年第 4 四半期リリース



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能の中には、管理者または ScholarOne の担当者が有効にしないと使用できない機能もあります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

このリリースに記載された事項に関するご質問は、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) にお問い合わせください。

内容

- 1.E-Mail タグのアクセシビリティの改善
- 2.XML への論文フラグ
- 3.ロールカテゴリをレガシーに移動
- 4.統合ログインのための基礎作業
- 5.ロール別にタスクを再度アサイン（スクリプトを削減）
- 6.注目すべき問題の修正

備考: このリリースには DTD の変更が含まれます

2020年第4四半期リリース更新

1. E-Mail タグのアクセシビリティの改善

カスタム E-Mail タグを編集または追加するためのアクセス権を追加しました。この時間節約の付加価値により、管理者が E-Mail タグの管理に要する労力とクリック数が減り、雑誌間コミュニケーションを管理するユーザーの累積的な時間節約につながります。

ユーザー

管理者

必要なアクション

ありません。デフォルトで利用できます。

詳細と構成

E-Mail タグには引き続き E-Mail テンプレートから直接アクセスできます。E-Mail テンプレートに加えて、管理者は [管理者ツール] > [設定] から、または E-Mail テンプレートリストの下部にある [E-Mail ツール] セクションで E-Mail タグを編集または追加できるようになりました。E-Mail タグを更新または作成するためだけにテンプレートを使用する必要はもうありません。



2. XML への論文フラグ

XML に論文フラグを追加しました。2020 年初頭、ScholarOne Manuscripts では、新型コロナウイルス (COVID-19) の投稿数の増加に伴い、追加のフラグを必要とする雑誌を支援するために、論文フラグを追加しました。論文フラグの使用が増大していることから、XML に論文フラグを追加することは理にかなっています。

ユーザー

編集者

管理者

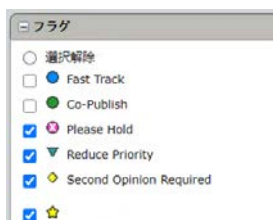
必要なアクション

構成は不要で、リリースに含まれています。

詳細と構成

システム内での論文フラグの働きに変化はありません。<!ELEMENT manuscript_flags> がオプション要素として <article> ノードに追加されました。この要素は ScholarOne のカスタマイズ可能な論文フラグをサポートしているため、カスタマイズ可能な意味を持つコード化されたフラグで雑誌の論文にタグ付けすることができます。<manuscript_flags> は、要素 <manuscript_flag> のラッパーであり、論文上の各フラグを個別に表すため使用されます。

「color」属性は ScholarOne におけるフラグの標準的な説明を提供し、カスタム構成された説明が要素とともに表示されます。カスタムテキストが提供されていない場合、要素は空白で表示されます。下記の例を参照してください。



```
<manuscript_flags>
  <manuscript_flag color="Pink Circle X">Please Hold</manuscript_flag>
  <manuscript_flag color="Inverted Blue Triangle">Reduce Priority</manuscript_flag>
  <manuscript_flag color="Yellow Diamond">Second Opinion Required</manuscript_flag>
  <manuscript_flag color="Yellow Star"> </manuscript_flag>
</manuscript_flags>
```

3. ロールカテゴリをレガシーに移動

ロールカテゴリの追加構成はサポートされなくなりました。このめったに利用されない機能からの移行は雑誌にとってコストがかかり、その計画に1年かかることもよくありました。

ユーザー

管理者

必要なアクション

アクションは不要です。

詳細と構成

ロールカテゴリの更新により、構成に新たな項目が追加されるのを防ぐことができます。これは追加構成が発生しないようにするだけで、既存の構成は従来どおりに機能します。

2 ロールカテ ゴリ

Role Categories is legacy functionality which is no longer supported by ScholarOne Manuscripts. New configurations of Role Categories are not permitted.

| ◀ 前へ ▶ 次へ | | |
|--|----------------------|----------------------------|
| カテゴリ | ロール | 削除 |
| カテゴリ設定が存在しません | | |
| カテゴリを追加 | | |
| カテゴリを追加: | <input type="text"/> | 次のロールへ: 直読者 ▼ |
| <input checked="" type="checkbox"/> 保存 | | |
| ◀ 前へ ▶ 次へ | | |

4. 統合ログインのための基礎作業

統合ログイン体験の基礎を構築するための準備作業が完了しました。UX チームと開発チームは、2021 年中にユーザーが持つさまざまなアカウントを単一のユーザー名とパスワードにリンクできるようにするために、技術的ニーズの見直しとプロセスの設計に意欲的に取り組んできました。雑誌データは互いにサイロ化したままですが、ユーザーのアクセスは単一のユーザー名とパスワードで実行できるようになります。詳細は追ってお知らせします。2021 年第 1 四半期/第 2 四半期末のロールアウトをお待ちください。

ユーザー

Author

編集者

管理者

必要なアクション

構成は不要です。

詳細と構成

このリリースでは、統合ログインによるお客様への影響はありません。

5. ロール別にタスクを再度アサイン（スクリプトを削減）

社内チームが使用しているツールを継続的に構築し、スクリプト要求事例をより迅速に処理できるようにしました。雑誌や発行者がスクリプトを含む要求を待つ時間を短縮するための継続的な取り組みの一環として、ScholarOne Manuscripts では、新たに作成したロールにユーザーを再アサインできるようにするために、社内ツールセットに別の使用事例を追加しました。サンプル使用事例「新しいAE ロールを作成し、処理中の全論文にユーザー_名をアサインする」

ユーザー

管理者

編集者

必要なアクション

構成は不要です。

詳細と構成

要求者側での変更はありません。スクリプト作業の所要時間は今後も短縮されていく予定です。

主な問題修正と機能の最適化

備考

ScholarOne では、リリースとリリースの間に多数のパッチとホットフィックスを導入しており、ユーザーがプラットフォームの継続的な改善を実感できるようにしています。その多くは社内チームによるプロセスの最適化を目的としているため、ワークフローには影響しません。これらの変更点についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

- **新しい論文種別の著者選択**
 - 原著論文の元の論文種別が無効化された後、改訂時に著者が新しい論文種別を選択できない問題を解決しました。
- **取り込まれた差し替え草稿の決定通知への著者回答**
 - 著者に返送された論文の差し替え草稿に、決定通知に対する著者の回答が添付ファイルとして含まれている場合に、外部投稿による差し替えが失敗する問題を修正しました。
- **「ここにもっと相応しいキーワードを挿入してください」機能**
 - AI からキーワードが提供されていないにもかかわらず、[ここにもっと相応しいキーワードを挿入してください] テキスト領域が表示される問題を修正しました。
- **LaTEX ファイルのダウンロードの問題**
 - 「ファイルをダウンロードできません」というエラーメッセージが断続的に表示される問題を修正しました。
- **取り込まれた差し替え草稿が草稿論文の待ち行列に表示される論理**
 - 著者に返送された論文の差し替え草稿が外部投稿されると、その草稿が、外部投稿された草稿論文の待ち行列ではなく、草稿論文の待ち行列に表示される問題を修正しました。
- **Submission Prefill での助成機関の編集**
 - Mac で Submission Prefill を通じてアップロードした場合に、投稿者が助成機関情報を編集できない問題を解決しました。
- **[異常アクティビティ検出ツールのスコア履歴] リンクと [構成作業履歴] リンク**
 - [異常アクティビティ検出ツールのスコア履歴] リンクと [構成作業履歴] リンクが 2 回表示されていた問題を修正しました。

詳細のお問い合わせ先

ScholarOne 製品サポート
s1help@clarivate.com

電話番号: 888 503 1050 (米国) または
0800 328 8044 (英国)
月曜日午前 12:00～金曜日午後 8:30 (東部標準時)

webofsciencegroup.com

Web of Science Group について

Clarivate 社、*Web of Science Group* が管理する世界の研究情報は、研究を加速するために多様な学界、企業、出版社、政府で利用されています。また、そのために出版社に中立な世界最大のサイテーションインデックスとリサーチインテリジェンスのプラットフォームである *Web of Science* が活用されています。そのほかにも、*Converis*、*EndNote*、*Kopernio*、*Publons*、*ScholarOne*、*Institute for Scientific Information (ISI)* などの有名ブランドを提供しています。Web of Science Group の「大学」である ISI はインデックス、関連情報、分析コンテンツ、サービスを構築する基盤となるナレッジコーパスを管理し、イベント、会議、出版物を通して外部にその知識を広め、調査を実施してナレッジベースの維持、拡張、改善に努めています。詳細については webofsciencegroup.com をご覧ください。

© 2019 Clarivate. All rights reserved. Clarivate の書面による事前の同意なしに、Clarivate のコンテンツを再発行や再配布すること（フレーミングまたは類似の方法による場合を含む）は禁止されています。Web of Science Group とそのロゴ、および本文書で使用されている他のすべての商標はそれぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。